

最優秀賞

人との関わり

岩見沢市立明成中学校 3年 内崎 いおり



私は今まで、人との関わりの中で、失敗ばかりしてきました。友達と分かり合えなかったり、部活の後輩と対立してしまったり……。しかし、たくさんの失敗を繰り返し、乗り越えた先には、自分が気づけたことがありました。

それは、人と関わるときの失敗の発端は全て自分が招いていた、ということです。今まで何度も人間関係について悩んできました。友達と喧嘩をし、仲直りしてはまたすぐ喧嘩。「何故すぐこうなってしまうのだろう」いつもそう思っていました。でも、その度に「単なるクラスメイトだし」「別にお互い様じゃん」そんなふうに思ってやり過ごしてきました。しかし、今思うと原因のほとんどは、自分自身にあったと思います。

そう思うようになったきっかけは、中学一年生の時です。当時の私は自己中心的で、周りを見ない人間でした。ですが、そんな私と仲良くしてくれていたAさんという親友がいました。

ある朝、AさんとLINEをしていると、急に返信が冷たくなりました。学校へ行っても冷たいし、何故なのかわからないまま夜になり、AさんからLINEが送られてきました。内容は、今までAさんが私に対し我慢してきたことです。ですが、あの時の私は、自分の過ちに目を向けず、相手への不満ばかり。結局、Aさんに謝らないまま、関係は崩れました。

その後、Aさんとは疎遠になり、教室で一人になった時、私は、心を開ける友達の大切さに気がつきました。そして、今までの自分の行動を振り返り、自分の何かを変えなければだめなのかもしれない。そう思うようになりました。自分のことを振り返れば振り返るほど後悔や申し訳なさで、胸が痛くなりました。言葉では言い表せない、どこかにぽっかり穴が空いたような、そんな気持ちでした。相手を大切に思う気持ちを、もっと大事に

していたら、こんなことにはならなかったかもしれません。

また、もう一つの失敗は相手との大事な話をLINEで終わらせてしまったことです。Aさんと直接会い、顔を合わせるべきでした。なぜなら、文字だけの会話より、互いの思いが伝わりやすいからです。Aさんの顔を見たら、楽しかったことを思い出し、相手への不満なんて、吹き飛んだかもしれません。素直に謝ることもできたかもしれせん。

しかし、後悔ばかりではありません。失敗から学んだこともあります。それは、協調性の大切さです。自分と異なる人との関わりは難しいです。ですが、自分の意見だけを言うのではなく、相手の意見にも耳を傾け、互いが納得する「妥協点」を見つけることが大切だと思います。妥協という言葉には、「互いの考えを理解し、一致点を見いだす」という意味があります。クラスや班の話し合いの場面。私は今でも、少し自分の意見を強く言ってしまうときがあります。そんな時は、周りの人の思いを大切に接するよう、心がけています。自分の主張ばかりしていた時は、周りのみんなが私に対し、気を遣い、本音で話をしなかったように思います。でも、相手の思いを大切にするようになってから、少しずつみんなが素で関わってくれるようになり、良い意味で意見のぶつけ合いができるようになってきました。

一方で、私が学んだことが、中学という狭い世界だけではなく、高校や大学、社会に出た時に通用するのには、正直、不安です。ですが、もしまた失敗しても、そこから逃げず、しっかりと目を向け、反省したいです。そして、正しいことや新しいことを学んでいきたいと思います。人との関わりを大切にしながら。